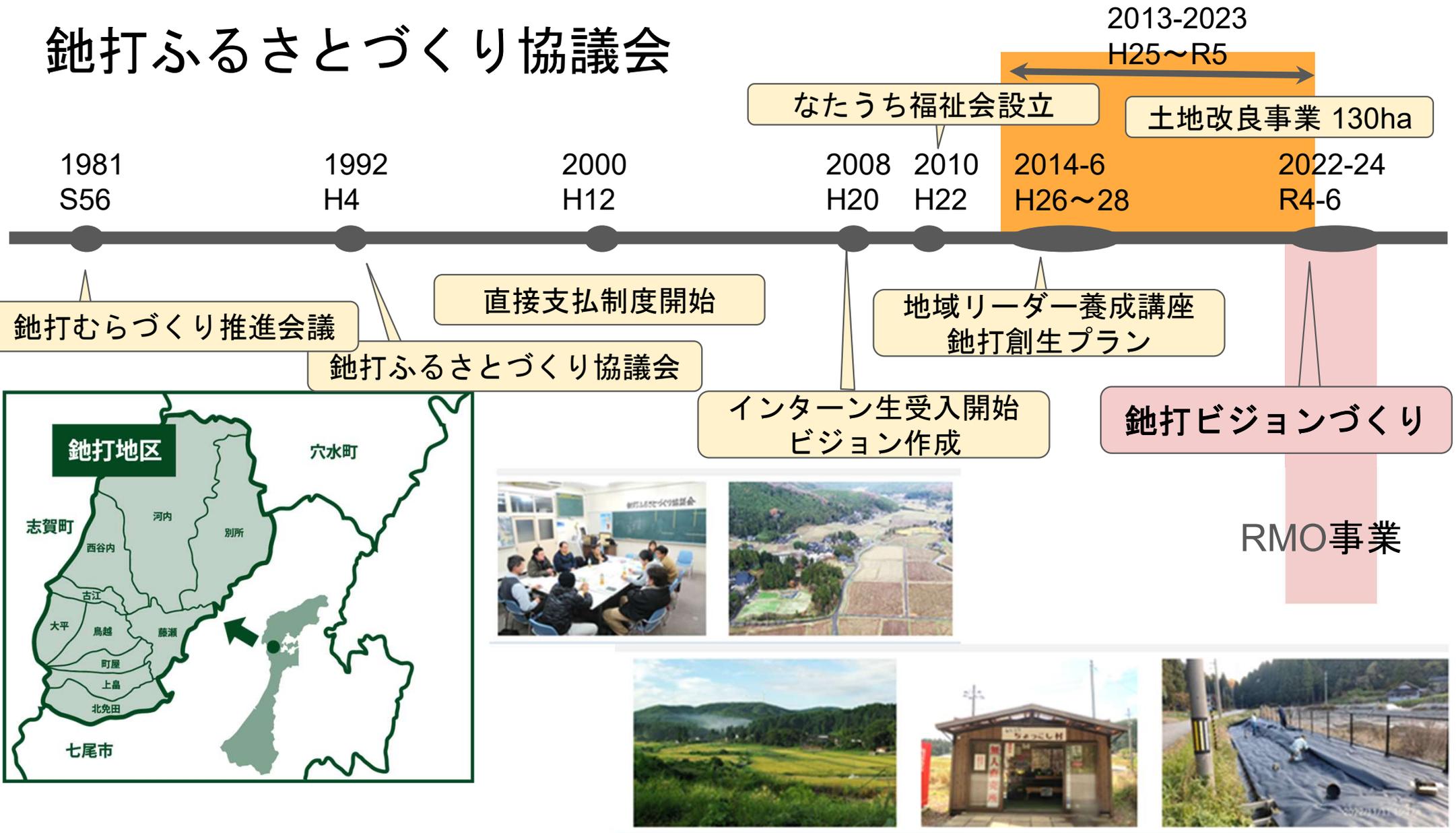


石川県七尾市鉦打（なたうち）地区



鉦打ふるさとづくり協議会



取組内容

現状と課題

農用地保全

- 農地利用権設定で急速に増大した「農地持ち非農家」の地域とのかわりの希薄化。
- 区域が広範囲なため水田の水管理等営農活動に支障が生じている。
- 高齢化が著しく担い手の後継者確保が急務。

地域資源活用

- 伝統的な行事や祭りなど次世代へ継承すべき地域資源がすべての住民に認識されていない。
- 所得向上による雇用増加の必要性。
- 現行の味噌、漬物加工の生産量拡大と無人直営販売所の効率的な運営管理。

生活支援

- 介護施設ニコニコホームの介護人員確保。
- 安否確認サービスの充実。
- 買い物支援サービスの登録者の拡大及びドライバー確保。
- 配食サービスの週1回～2回以上の実施。

課題に対する対応方針

- 草刈り等共同活動への参画・参加を促す手法やシステムの開発を目指しワークショップを開催する。
- 水位及び気象センサーを設置し、水田管理の省力化を促進する。
- インターンシップ等体験移住希望者の受け入れと、宿舎の確保。

- 地域資源を継承する必要性などワークショップで見える化。
- 伝統的な野菜栽培の拡大、6次加工の産業化・事業化。
- 無人直売所の在庫及び販売管理のシステム化。

- 介護職の研修と雇用の充実。
- 電球センサーによる非安否確認者の増設と確認システムの研修。
- デマンドタクシー型の運行による利便性をPR。
- 配食の受注システム化と配達方法の利便性確保。

目指す方向性(将来ビジョンより)

- 次世代及び新規就農者に魅力ある営農体制を構築する。
- 地域農業の持続可能性を図り、145ha農地の維持・保全を図る。

- 藤瀬の水等を交流の地域資源として活用し、維持・保護を図る。
- 自家製造の作物を活用した味噌を中心に販売を增高させ、所得向上を図る。
- 地区の農産物生産増。

- 誰もが安心して暮らせる持続可能な日常サービスを行う。

全体プロセス（取組実績とその効果）

鉤打ふるさとづくり協議会（石川県七尾市）

	1年目（令和4年度）	2年目（令和5年度）	3年目（令和6年度）
取組の総括	<ul style="list-style-type: none"> 農用地保全、地域資源活用及び生活支援と併せ、10年後の鉤打創生ビジョン作成に向けた世代間を超えたワークショップを5回実施。地域住民の意向内容を整理した。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度策定の鉤打創生ビジョンをもとに世代間を超えたワークショップ6回の開催に加え、1月1日能登半島地震後急遽、復興計画作成のためのワークショップを特別開催しアクションプログラムを策定した。 	<ul style="list-style-type: none"> （3年目以降に記載）
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> 「アグリサポート隊」隊員募集と草刈り作業、防草シート張り等の実施。 ⇒募集の結果、追加6人で総勢45人となった。また、9月末までに4,714時間（月平均：785.7h、1人当たり35.7h）実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「アグリサポート隊」隊員募集と草刈り作業、防草シート張り等の実施。 ⇒募集の結果、追加4人で総勢49人となった。また、10月末で6,347時間（月平均529h 1人当たり218H）実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> （3年目以降に記載）
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> 無人直売所の不払い対策として、防犯カメラやPayPay支払対応の無人レジを設置。 ⇒PayPay設置前は、平均月額13,768円（22年度）の不払いがあったが、設置後は3,151円（23年9月まで）まで削減された。 	<ul style="list-style-type: none"> 新商品開発：乾燥ネギ、ネギパウダー、中島菜パウダー、無人直売所等で販売。 ⇒出品者も増え、また1人当たりの出品量も増えたことなどから店内が狭いとの声があり拡張計画を策定。 	<ul style="list-style-type: none"> （3年目以降に記載）
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通空白地有償旅客運送の認可取得による、買い物支援や配食サービスの実施。 ⇒住民からは、「相乗りも楽しみになった」と喜ばれた。また、男性からの配食が増え、回数増の要望も出てきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物支援や配食サービスの継続、味噌づくり等の体験及び交流活動。 ⇒買い物支援は年間526人の利用があった。また、配食サービス登録者数49名 年間820食（週1回×50週）の実績となった。 	<ul style="list-style-type: none"> （3年目以降に記載）

対象地域

- （事務局名）**
美土里ネットなたうち
- （地域の範囲）**
旧市町村（10集落）
- （土地面積（R4.6月時点））**
2,800ha
- （農地面積（R4.6月時点））**
224ha
- （世帯数（R4.6月時点））**
298戸

構成員

- ・鉤打町会長会
- ・美土里ネットなたうち
- ・鉤打壮年団協議会
- ・鉤打女性会
- ・鉤打老人会
- ・NPOなたうち福祉会
- ・農事組合法人なたうち
- ・藤瀬霊水公園管理組合
- ・朱鷺の棲む鉤打クラブ

ビジョンづくりの様子

女性の意見

若手の意見



残したいもの
なたうち心配なこと

祭り
農地
交流

これらを
守っていく
人としくみ

残したいもの	心配なこと
祭り	若い人がいない、祭りができるか
祭り	人口
祭り	若者の土地離れ
祭礼	人が少ない
お祭り	高齢化が進んでいる
ととのった自然	守る人の器量
水資源	自然破壊
自然	整えていく力
里山の自然	高齢化、人口減
米	人
田畑	祭り
交流施設（集会所）	主となる人の負担
人	人
思いやりの心	農地
世代交流（何かしらの）	人
鉈打のきょうどう	

ロジックモデルとは？

ある活動がその目的を達成するまで、論理的に因果関係を示したもの (文科省より一部抜粋)

資源/インプット

アクティビティ

アウトプット

アウトカム

ビジョン

活動のために、
どんな資源が必要か

結果のために、
どんな活動が必要か

変化のために、
どんな結果が必要か

残したいものの
ために、どんな
変化が必要か

鉦打に何を残し
たいか？

活動には何が必
要か？何を持っ
ているか？

指標を達成する
活動内容は？

変化を生むため
の指標は？

誰の（何の）
どんな変化？

- ・祭り
- ・農地
- ・交流

アウトカム（＝変化）

祭り/農地/交流を残すために、誰が（何が）どう変わっておく必要があるのかを考えよう

変化の対象は①地域外の人/②地域内の人/③人以外のモノ（自然、建物）など

資源/インプット

アクティビティ

アウトプット

アウトカム

ビジョン

活動のために、
どんな資源が必要か

活動には何が
必要か？何を持っ
ているか？

結果のために、
どんな活動が必要か

指標を達成する
活動内容は？

変化のために、
どんな結果が必要か

変化を生むため
の指標は？

残したいものの
ために、どんな
変化が必要か

誰の（何の）
どんな変化？

鉦打に何を残し
たいか？

- ・ 祭り
- ・ 農地
- ・ 交流

鉦打版 S D G s

～鉦打を持続可能とするための変革～

方針 1

祭り・農地・交流を守るために集中する

方針 2

地域外からの関わりしろを変革の糸口に

方針 3

少人数を強みに変える包括的 D X 化

PJ1 : ちょっこし村拡充プロジェクト
＜交流＞

PJ2 : 高齢者センターの利活用プロジェクト
＜交流＞

PJ3 : 祭り存続プロジェクト
＜祭り＞

PJ4 : 移住者増加プロジェクト
＜交流・祭り＞

PJ5 : 全戸調査
＜祭り、農地、交流＞

PJ6 : クラウド村民プロジェクト
＜交流＞

ご清聴ありがとうございました

